

フォアザパブリック 衆の利益が第一！



加藤 章二

無所属

「防災に強い町づくりを」

上大岡駅周辺開発の偏りを正し東口周辺道路インフラ整備を行い災害発生時にも緊急車両のスムーズな活動を行えるように地権者の協力の下に行政各所の知恵を借り港南区独自の社会基盤整備を行う。

「高齢者に優しい町づくりを」

坂道の多い区域において、いかに高齢者が高地から低地へ負担なく安全に行き来が出来るか。丘の上の過疎化を防ぐためにあらゆる事例を参考に実現に向けて具体的政策を提案します。

「子供たちが安心して遊べる環境づくりを」

商業地区のにぎやかな場所のみならず、現在各所にあるグラウンドを複雑な手続を経ずにいつでも簡便に利用できるよう行政内部の改革を行う。

横浜市全体の構想も大事な事案であるが派手な構想のみを掲げるのではなく地元港南の歴史を鑑み港南区独自の事案を優先し、まずは地元の事案に着手。

私は、当落の結果に関係なく、港南区の偏ったシガラミを断ち切り大衆の意見を

代弁いたします！

ふるさと

政党間抗争より、日本一豊かな街・横浜の実現を!!



無所属

育木 たくし

3つの重点政策

①日本をリードする経済力

衆議院在職時に横浜を国のEVタウンに指定し、次世代車開発と充電スタンドの整備を進めました。今後もEVや自動車など、強い競争力を持った産業の集積を進めます。

②少子高齢化への対応

私が生まれた頃急速に宅地開発が進んだ港南区では、いま高齢化への対応が大きな課題です。

不足する入居型施設の増床や訪問介護サービスの充実、独居世帯への巡回見守りサービスの実施など、より安心して暮らせる地域を作ります。また私も3児の子育て真っ最中です。託児・教育施設を更に充実させ、安心して子育てができる地域を実現します。

③補助金制度の見直し

民間企業なら全額自前でを行う設備投資も、農協なら半額補助金で賄ってもらえる。

国にも市にも効果が不透明な補助金制度があり、政治家が自らの支持団体に配る集票目的に利用されています。

完全無所属の立場から既存の補助金支出をゼロベースで見直し、いま必要な使い道へ改めます。

働きざかり!!

元NHK

アナウンサー

元衆議院議員

プロフィール

40歳

- 1974年 生まれ40歳港南区出身
- 1987年 横浜市立日野南小学校卒業
- 1993年 栄光学園高等学校卒業
- 1997年 東京大学 法学部卒業
- 1997年 NHK入局(アナウンサー)
- 「クローズアップ現代」のディレクターなど、報道番組制作を担当。
- 2008年 民主党の候補者公募に合格。NHKを退職。

- 2009年 第45回衆議院選挙に静岡7区(浜松・湖西市)から立候補し当選。党政策調査会長補佐、経済産業委員。
- 2012年 第46回衆議院選挙惜敗。選挙後民主党を離党し、故郷にて活動を再開。横浜市議会から改革を目指す

命と子どものために 動き、実現します

とことん

私は憲法9条を守り、横浜の若者を戦地には送らせません。

横浜にカジノはいらない

財源はあります

不要不急の大型開発を中止させて、一般会計1兆5千億円の1%150億円を組み替えれば、中学校給食は4年計画で実現し、特養ホームの100床増設など実現できます

議会改革で議員報酬の削減・費用弁償廃止・海外視察費は廃止

2つのチャレンジ

☆若者の雇用とくらし応援
ブラック企業・ブラックバイト根絶
条例をつくる。若者住宅補助制度をつくる。
☆横浜から原発ゼロを発信する。

3つの大切

☆子育て支援—中学校給食の実施。中学三年生までの子どもの医療費無償化を所得制限をなくしてすすめる。
☆高齢者対策の強化—介護保険料・国民健康保険料を引き下げ、高齢者見守り制度をつくる。
☆安心安全のまちづくり—住宅密集地の防災対策を強化。防災スピーカーの街角設置。公契約条例をつくる。瀬上の森を守る。

現場に行きます
私は区内4か所の党相談センターで、4年間毎月相談活動を行い、市民アンケートの要望も合わせて全て現地調査を行い、市や警察署等との交渉もすすめてきました。
今度こそ市会で働かせてください
私は子育て世代を応援し、若者も高齢者も大切にする横浜市を実現するために、3つの大切、2つのチャレンジに全力で取り組みます。

略歴/1953年生まれ広島大学卒業・小学校教諭8年、芹が谷中PTA会長3期等、1999年から神奈川県議2期8年、党港南区市政対策委員長、上大岡東在住

みわ智恵美さんを推薦します

はたの君枝 (衆議院議員)
関 美恵子 (元横浜市会議員)

みわ智恵美 検索

実現 小中学校エアコン設置、小中学校図書館司書、上大岡バスターミナル思いやりベンチ、ミオカ前信号機スクランブル化、港南台駅バス時刻表設置など



日本共産党

みわ

智恵美

戦争する国づくり、消費税増税の安倍暴走政治とキッパリ対決

山田けいいちろう

ヨコハマから日本を変える



プロフィール

- 1963年7月 佐賀県生まれ
 - 佐賀西高校卒
 - 青山学院大学 経営学部卒
 - 大倉商事(株)非鉄金属部勤務
 - 伊藤忠商事グループ自動車部門勤務
 - 趣味:サイクリング、カヌー
- 横浜市会
- 経済・港湾委員会副委員長
 - 交通問題対策特別委員会委員長
 - 環境行動都市特別委員会副委員長

①身を切る改革

- 議員報酬・議員定数削減

④教育改革

- 道徳教育の推進、学校長の責任と権限強化

②地方分権・特別自治市推進

- 地方にできることは地方に任せる
- 権限・財源移譲

⑤行財政改革

- 公会計へ民間並の複式簿記導入
- 職員定数削減

③働く女性の為に働く

- 待機児童解消・学童保育支援拡大
- 中学校給食推進

⑥原発依存脱却

- 新エネルギー技術開発で横浜成長戦略へ

10年続けた早朝駅頭活動の初心を忘れず頑張ります!

山田けいいちろう K16 日記 検索

f keiichiro.yamada.5

@yamadakeiichiro

山田 けいいちろう
維新の党公認



民主党公認

市野太郎

前回(平成23年)の3大選挙公約

①待機児童解消のため保育所の拡充

平成22年度1552人であった待機児童が平成25年度ゼロ達成。引き続き保育所待機児童ゼロの継続をめざします。

計画を再び発表しました。私は引き続き全面保全を訴えます。

②瀬上沢緑地の全面保全

初当選時(平成19年)からの公約です。平成20年開発計画はいったん白紙となりましたが、平成25年末、事業者は開発規模を縮小した

③市営バス217系統

(港南台駅～日野中央2丁目)の存続
平成23年に交通局は、採算ラインに達しない事を理由に廃止の手続きを始めました。私は市会決算特別委員会で存続の必要性を訴え、また区役所へ支援を要請。地域の皆様の努力により平成24年存続が決まりました。

前回の公約以外でも様々な課題に取り組んできました

☆地下鉄ブルーライン快速運転「今年7月から実施」

平成20年10月の決算特別委員会、交通局長に快速運転の実施について質問をして以来、7年にわたり取り組んできました。いよいよ今年7月からの実施が決定しました。

☆港南台地区に図書取次サービスポイントの設置「来年1月から港南台地区センターで実現」

平成21年、図書サービスの充実を要望する地域の方々との意見交換会をきっかけに、この課題に取り組んできました。今年(平成27年)度予算で、来年1月より港南台地区センターでの実現が決定しました。

☆小児医療費の助成拡大「今年10月から小学校3年生まで拡大」

民主党横浜市議員団として、助成を現行の「小学校1年生」までの拡大が決定。引き続き「小学校6年生」まで要望してゆきます。

市野太郎の政策

▶環境

引き続き瀬上沢緑地の全面保全をはじめ、横浜の残された貴重な緑を守る施策をすすめます。

▶交通

港南台駅から環状3号線(野村港南台・見晴橋)を経由して戸塚駅までの路線の新設をはじめ、バス路線の拡充をめざします。

▶福祉

市営地下鉄港南中央駅、港南中学校側へのエレベーター設置など街のバリアフリー化施策をすすめます。

▶スポーツ

廃止が検討されている港南プールの存続をはじめ、スポーツ施設・運動場を維持確保します。

▶子ども

引き続き小児医療費助成を「小学校6年生まで」拡大をめざすと共に、通学路の安全確保など子どもの安全・安心施策をすすめます。

▶シルバー世代

楽しみながら継続して健康づくりに取り組む施策をすすめます。

▶市野太郎 プロフィール◀

- 1965年4月9日 横浜市生まれ
- 横浜国大附属横浜小・中学校卒業
- 1984年 神奈川県立港南台高校卒業(9期生)
- 1990年 日本大学文理学部数学科卒業後(株)STTコーポレーション入社
国会議員公設秘書を経て
東横製函工業(株)
2003年 横浜市議員(港南区)選挙当選
- 2007年 港南台高校同窓会 副会長
- 現在 港南区相撲連盟 会長
日野町少年野球リーグ 顧問
KTBL(港南台タウン野球リーグ) 顧問

暮らしを創る 豊かな発信力!

あなたの声を実現

小児医療費助成を小学校3年生まで拡大!
市立中学校の昼食充実を推進!
特別養護老人ホームの整備を推進!
市立小中学校の耐震化を推進!
災害時の飲料水確保策を充実!
障がい者の就労支援強化!

あなたの声を活かします!

I 支え合う地域づくり

地域包括支援センターと在宅医療連携拠点が連携し、認知症の早期発見・治療を可能とする医療体制を強化するなど、地域包括ケアシステムを構築します。

III 安心な地域づくり

異常気象や自然災害時に防災無線やハザードマップを活用し、災害時の被害軽減を推進します。

～プロフィール～

昭和45年6月・港南区生まれ、港南区育ちの44歳。法政大学法学部卒。平成23年横浜市議員初当選。健康福祉・病院経営常任委員会委員、減災対策推進特別委員会委員、基地対策特別委員会副委員長等を歴任。党県本部青年局次長 防災士 安西ひでとし公式HP <http://anzai-hidetoshi.com/>

「安心・安全・安定の安西！」

<安心>

子育て支援と市民生活の充実
少子高齢社会の対策

<安全>

防災・減災対策
医療制度の拡充

<安定>

行財政改革と雇用支援
郊外部のまちづくり

あなたの声をキャッチ!



II 魅力ある地域づくり

よこはまウォーキングポイント事業を活用し、日常生活の中で楽しんで健康づくりができる港南区を目指します。

IV 活力ある地域づくり

現状小学校3年生までの小児医療費助成の対象年齢を6年生まで拡充し、所得制限の撤廃を目指します。



安西
あんに
公明党公認
さ
い
ひでとし
(44歳)

10年後の 横浜へー 今、大きな変換期

10年後の平成37年、横浜市は人口の約100万人が高齢者になり、社会保障費の増加や福祉・医療サービスの需要も増大。反面、子育て世代の減少や出生数の低下などにより、労働力の低下や消費が減少。また、道路・上下水道・学校施設の約7割の建築物に保全・更新などが、必要と推計されています。

**目指す
10年後** 市内経済が活性し健全な財政で、
自立した都市運営が行われる横浜

経 歴

昭和35年 港南区生まれ
48年 永野小・51年 上永谷中
54年 武相学園高等学校
58年 多摩芸術学園絵画学科卒
平成15年
横浜市議員初当選
以後3期連続当選
市会運営委員会、水道・交通委員
会、市民・文化・観光委員会など、
各委員長を歴任

私、せのま康浩に、3期12年市政を託し、市会に送り続けていただいたことを心より御礼申し上げます。

昨年は、市会運営委員長を拝命し、地域のごことは地域で決める地方分権社会への転換を目指した議会改革へ向けて、「議会基本条例」を提案し成立させました。

これからは10年後の横浜が抱える課題を解決し、活力ある横浜へ、市内中小企業へのあらゆる支援・商店街活性化への投資など、経済を発展させ雇用創出による持続可能な財源確保へ向けて、自民党横浜市議員3期12年で培った力を発揮し国政と連携、安心・安全で活力ある横浜へ、取り組んでまいります。



自民党公認

せのま
やすひろ
康浩

街に出る！
現場に出る！

いきいき健康都市ヨコハマ創り

出前の政治

ガン撲滅対策推進条例実現！横浜経済成長戦略で
賑わいのある横浜実現へ！安心安全な街・誰もが住ん
でいて良かったと思える街ヨコハマ創りに邁進します。



たのしい一雄

自由民主党公認

心から
推薦します。

衆議院議員
県知事

すが 義偉
桐生 秀昭
黒岩 祐治

医療福祉保健

防災防犯地域

教育食育環境

横浜経済活性化

主な経歴

昭和15年 港南区上大岡生まれ
昭和28年 横浜市立桜岡小学校卒業
昭和34年 関東学院六浦中学高等学校卒業
昭和38年 明治大学卒業
昭和54年（社）横浜青年会議所理事長
昭和58年 初当選以降連続8期当選

現職

港南区子ども会連絡協議会会長
港南区サッカー協会顧問
港南区小学生野球連盟会長
学校法人関東学院監事
明治大学校友会横浜支部副支部長
ガン撲滅横浜市議員連盟会長